

平成 17 年度試験研究成果書

区分	指導	題名	リンドウ黒斑病の発生特徴と防除対策		
[要約]リンドウ黒斑病は8月下旬以降に発生し、主に採花部(本葉,がく片,花弁)に斑点を生じる。防除薬剤としては、クレソキシムメチル水和剤とメパニピリル水和剤が有効であり、発病前の8月から発病盛期の9月中旬にかけて予防散布すると防除できる。					
キーワード	リンドウ黒斑病	<i>Alternaria</i>	薬剤防除	病害虫部	病理昆虫研究室

1 背景とねらい

県南部の アルビレオ を中心に、葉が輪紋状に枯れる障害(以下、葉枯れ症状)が発生している。これまでに、その発生原因が新病害の「リンドウ黒斑病」(病原: *Alternaria* 属菌)であることを明らかにしてきたが(平成14年度試験研究成果(研究)),その後の現地調査から本病とは異なる原因不明の葉枯れ症状も発生しており、両者を混同して診断している事例の多いことがわかってきた。そこで、本病の発生特徴を整理するとともに、リンドウに農薬登録のある薬剤の中から本病にも有効な薬剤を検索した。

2 成果の内容

- (1) 発生時期: 8月下旬頃から発生し、9月に発病増加する。
- (2) 発病部位および病徴: 主に採花部の本葉に発生し、がく片や花弁にも褐色の斑点を生じる。(図1,表1)
- (3) 防除方法
発病前の8月から発病盛期の9月上旬にかけて、本病にも効果のある薬剤を予防散布すると防除できる。本病に対してはクレソキシムメチル水和剤(商品名: ストロビーフロアブル)とメパニピリル水和剤(商品名: フルピカフロアブル)が有効である。(表2)

3 成果活用上の留意事項

- (1) ストロビーフロアブルの農薬使用基準は、使用回数が3回以内である。
- (2) 衣川村における現地調査では、本病による被害園地は少なく、多くは6~7月に発生する葉枯れ症状を問題としている。
- (3) 6~7月に発生する葉枯れ症状は、下位葉から発生し上位葉に進展する。葉に退緑を伴い、楕円形~不整形の斑点を生じる。株単位で発生することが多く、劇症株に隣接する株では未発生である場合がある等、生育期間中の伝染性が観察されない。各種殺菌剤による防除効果が認められないことから、糸状菌や細菌による病害の可能性は低いと考える。本症状の原因については、次年度以降も継続して検討する。

4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等 県下全域
- (2) 期待する活用成果 リンドウの安定生産に資することができる。

5 当該事項にかかる試験研究課題

(H15-27)リンドウ葉枯れ症状の原因解明と防除法(H15~17)

6 参考資料・文献

- (1) 猫塚ら(2002) *Alternaria alternata*(Fries)Keissler によるリンドウ黒斑病の発生(新称) 日植病報 68: 27
- (2) リンドウの新病害“黒斑病”の発生状況 平成14年度試験研究成果(研究)

7 試験成績の概要



図1 リンドウ黒斑病の病徴
A：本葉の輪紋症状，B：がく片の枯れ，C：花弁の斑点

表1 リンドウ黒斑病の発病部位

発病部位	発生数（比率）	
	ジョパンニ ¹⁾	アルピレオ ²⁾
本葉（採花部，上位）	100（35.2%）	130（42.2%）
”（ ” ，中位）	70（24.6）	80（26.0）
”（非採花部，下位）	17（6.0）	5（1.6）
側芽	26（9.2）	15（4.9）
がく片	40（14.1）	59（19.2）
花弁	31（10.9）	- ³⁾ （-）
茎	0（0）	19（6.2）
合計	284（100）	308（100）

1) 2005年9月16日，一関市農家圃場（発病茎率46.9%）

2) 2005年9月21日，衣川村農家圃場（発病茎率48.8%）

3) -：未調査（未開花のため）

摘要) 主に採花部に発生し，本葉，がく片および花弁に発病する。アルピレオでは茎枯れに至る。

表2 リンドウ黒斑病に対する各種薬剤の防除効果(2005年)

供試薬剤	希釈倍数	調査茎数	発病茎率 ¹⁾	発病度 ²⁾	防除価 ³⁾	汚れ
フルピカフロアブル	2,000	297	7.4%	2.0	84.6	±
ストロビーフロアブル	2,000	311	7.6	2.5	84.3	±
ベフラン液剤	1,500	297	24.9	7.4	48.3	-
トップジンM水和剤	1,500	389	48.1	18.8		±

1) 採花部の本葉を対象に調査した。

2) 以下の発病程度別に指数を与えて算出した。

0：発病なし，1：病斑数が1個，3：病斑数が2～5個，5：病斑数が6個以上，7：茎枯れ

3) トップジンM水和剤を無防除区とし，発病茎率から算出した。

試験概要)

試験地：衣川村農家圃場（例年発生圃），品種：アルピレオ，試験規模：1区10m²・2反復

散布日：8/4，17，29，9/9（4回），調査日：9/21